

# 安全データシート

作成日 2017年10月30日

## 1. 製品及び会社情報

製品の名称	自動グリス給油機 窒素ガス式
会社名	株式会社MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問い合わせ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ
整理番号	M201006
推奨用途及び使用上の制限	自動給油装置に充填してベアリング等への潤滑を行う。 製品の意図する用途を除いて使用不可。

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

物理化学的危険性	自然発火性固体 区分外 水反応可燃性化学品 区分外
健康有害性	急性毒性(経口) 区分外 急性毒性(経皮) 区分外 急性毒性(吸入:ミスト) 区分4 皮膚腐食性及び刺激性 区分2
環境有害性	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2 水生環境有害性(急性) 区分3 水生環境有害性(長期間) 区分3

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

### GHSラベル要素

#### 絵表示



#### 注意喚起語 危険有害性情報

警告  
吸入すると有害  
皮膚刺激  
強い眼刺激

#### 安全対策

長期継続的影響により水生生物に有害

#### 注意書き

保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。  
ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。

#### 応急措置

取扱い後は手をよく洗うこと。  
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
環境への放出を避けること。

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当を受けること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

換気の良い場所で保管すること。

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

### 3. 組成及び成分情報

#### 化学物質・混合物の区別

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
水素処理ヘビーパラフィン油	30.0～40.0%	特定できない	(2)-10	既存	64742-54-7
石油残渣油(水素処理)	30.0～40.0%	特定できない	(9)-1689	既存	64742-57-0
ビス[O, O-ビス(2-エチルヘキシル)]ビス(ジチオホスフェイト)亜鉛塩	0.1～1.0%	C32H68O4 P2S4Zn	(2)-2185	既存	4259-15-8
添加剤(1)	非公開	特定できない	不明	不明	---
添加剤(2)	非公開	特定できない	不明	不明	---

#### 分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

#### 労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

鉱油(政令番号:168)(80%～90%)

### 4. 応急措置

#### 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

#### 皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

#### 眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当を受けること。

#### 飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

### 5. 火災時の措置

#### 消火剤

粉末消火剤、二酸化炭素、一般の泡消火剤、散水。

#### 特有の危険有害性

可燃性物質: 燃えるが、容易に発火しない。  
加熱により容器が爆発するおそれがある。  
吸入すると有害となるおそれがある。

		接触により皮膚や眼に炎症を起こすおそれがある。
特有の消火方法 消火を行う者の保護		火災時に刺激性、腐食性及び／又は毒性のガスを発生するおそれがある。
6. 漏出時の措置	人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 空気式呼吸器(SCBA)を着用する。 防火服は火災時に限られた防護をするに過ぎない。
環境に対する注意事項		直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外は近づけない。 作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。 適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。 風上に留まる。 低地から離れる。 立ち入る前に、密閉された場所を換気する。 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 環境中に放出してはならない。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。 危険でなければ漏れを止める。
封じ込め及び浄化の方法・機材		
7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
	安全取扱注意事項	空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。 飲み込みを避けること。 眼、皮膚との接触を避けること。 粉じん、ヒュームの吸入を避けること。 ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 環境への放出を避けること。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	接触回避 衛生対策	
	安全な保管条件	保管場所には本製品を貯蔵し又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。 禁煙。 酸化剤から離して保管する。 容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。

安全な容器包装材料 包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに  
入れる。

## 8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会 (2016年版)	ACGIH (2016年版)
水素処理ヘビーパラフィン油	未設定	3mg/m <sup>3</sup>	TWA 5mg/m <sup>3</sup> (I)
石油残渣油(水素処理)	未設定	3mg/m <sup>3</sup>	TWA 5mg/m <sup>3</sup> (I)
ビス[O, O-ビス(2-エチルヘキシル)]ビス(ジチオホスフェイト)亜鉛塩	未設定	未設定	未設定

### 設備対策

本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

取扱いについては全体換気装置を設置した場所で行う。

空気中の濃度を制御するには、一般適正換気で十分である。

### 保護具

呼吸器の保護具	換気が不十分な場合には、適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	保護手袋を着用すること。
眼の保護具	眼の保護具を着用すること。 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具	顔面用の保護具を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 外観

物理的状態	固体
形状	ペースト
色	明るい茶色
臭い	特有の臭い
臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	データなし
融点・凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	>230°C(クリーブランド開放式)
燃焼性(固体、気体)	データなし
燃焼又は爆発範囲	データなし
下限	データなし
上限	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度(空気=1)	データなし
比重(密度)	0.90～0.95 (20°C)
溶解度	水に不溶
n-オクタノール／水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度(粘性率)	データなし

## 10. 安定性及び反応性

### 反応性

酸化剤と反応する。

### 化学的安定性

通常の条件においては安定である。

危険有害反応可能性	過剰な圧力又は熱を放出する危険有害な反応又は重合は起こらない。
避けるべき条件	熱、火花、裸火などの着火源。
混触危険物質	強酸、強酸化剤。
危険有害な分解生成物	燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素、金属酸化物を発生する。

## 11. 有害性情報

急性毒性	経口	成分の急性毒性値は、ビス[O, O-ビス(2-エチルヘキシル)]ビス(ジチオホスフェイト)亜鉛塩 3100mg/kg、添加剤(1)5000mg/kg、添加剤(2) 2500mg/kg、水素処理ヘビーパラフィン油 >5000mg/kg、石油残渣油(水素処理) >5000mg/kgであり、混合物の急性毒性推定値が4215.97mg/kgのため、GHS:区分外に該当する。
	経皮	成分の急性毒性値は、水素処理ヘビーパラフィン油 >2000mg/kg、石油残渣油(水素処理) >5000mg/kg、ビス[O, O-ビス(2-エチルヘキシル)]ビス(ジチオホスフェイト)亜鉛塩 >5000mg/kg、添加剤(1) >2000mg/kg、添加剤(2) 5520mg/kgであり、混合物の急性毒性推定値が5087.09mg/kgのため、GHS:区分外に該当する。
	吸入(蒸気) 吸入(ミスト)	データがなく分類できない。 成分の急性毒性値は、水素処理ヘビーパラフィン油 2.18mg/L、石油残渣油(水素処理) 2.18mg/Lであり、混合物の急性毒性推定値が2.18mg/Lのため、GHS:区分4「吸入すると有害」に該当する。(混合物の1%は毒性が未知の成分からなる。)
皮膚腐食性及び刺激性		水素処理ヘビーパラフィン油、石油残渣油(水素処理)、ビス[O, O-ビス(2-エチルヘキシル)]ビス(ジチオホスフェイト)亜鉛塩、添加剤(1)が区分2で、区分2の成分濃度の合計が濃度限界(10%)以上のため、GHS:区分2「皮膚刺激」に該当する。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		ビス[O, O-ビス(2-エチルヘキシル)]ビス(ジチオホスフェイト)亜鉛塩が区分2A、添加剤(2)が区分2で、区分2Aの成分濃度 + 区分2の成分濃度の合計が濃度限界(10%)以上のため、GHS:区分2「強い眼刺激」に該当する。
呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 吸引性呼吸器有害性		データがなく分類できない。 データがなく分類できない。 データがなく分類できない。 データ不足のため分類できない。 データがなく分類できない。 データがなく分類できない。 データがなく分類できない。 データがなく分類できない。 データがなく分類できない。

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)	ビス[O, O-ビス(2-エチルヘキシル)]ビス(ジチオホスフェイト)亜鉛塩が区分2、添加剤(1)、添加剤(2)が区分3で、区分2の成分濃度X10 + 区分3の成分濃度の濃度合計が濃度限界(25%)以上のため、GHS:区分3「水生生物に有害」に該当する。
-------------	---

水生環境有害性(長期間)  
ビス[O, O-ビス(2-エチルヘキシル)]ビス(ジチオホスフェイト)亜鉛塩が区分2、添加剤(1)、添加剤(2)が区分3で、区分2の成分濃度X10 + 区分3の成分濃度の濃度合計が濃度限界(25%)以上そのため、GHS:区分3「長期継続的影響により水生生物に有害」に該当する。

生態毒性

添加剤

(複数の毒性値の中で最小値のデータ)

魚類 LC50(96h) = 1000mg/L (IUCLID)

甲殻類 LC50(48h) = 40.299mg/L (推定)

藻類 EC50(96h) = 11.563mg/L (推定)

オゾン層への有害性

モントリオール議定書の附属書に列記されたオゾン層破壊物質を含まないため分類されない。

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

### 14. 輸送上の注意

国際規則

Regulatory Information by Sea

Not dangerous goods

Regulatory Information by Air

Not dangerous goods

国内規制

陸上規制

非該当

海上規制情報

非危険物

航空規制情報

非危険物

特別の安全対策

輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

緊急時応急措置指針番号

重量物を上積みしない。  
なし

### 15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)(鉱油)

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)(鉱油)

### 16. その他の情報

連絡先  
参考文献

株式会社MonotaRO  
EU CLP Regulation, AnnexVI  
RTECS  
ECHA C&L Inventory Database  
ECHA Registered substances Database  
Pulsarlube USA社製PSDS Rev 04(2017.10.24)

発行履歴  
改訂履歴

2017年10月30日(日本語版初版発行)  
なし

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。